

多発性骨髄腫 (再発・難治性)
Kd療法 (維持)

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

| 身長 (cm) | 体重 (kg) | 体表面積 (m ²) |
|-----------------------|---------|------------------------|
| EIGHT01_DWHEIGHT01_Dc | | #VALUE! |

性別: TIENTSEXN

年齢: @PAT 歳

投与スケジュール: 1コース: 28日間

使用薬剤: カルフィルゾミブ: カルフィルゾミブ 10mg/V、40mg/V

デキサメタゾン (DEX): レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 体表面積が2.2m²を超える患者では、体表面積2.2m²として投与量を算出すること。
- ※ Ccrが15mL/分未満となった場合には、カルフィルゾミブを休薬すること。Ccrが15mL/分以上まで回復した場合には、投与の再開を検討すること。透析を要する場合には、再開時の用量として20mg/m²を超えないこととし、また透析後に投与すること。
- ※ カルフィルゾミブについて、1サイクルの1及び2日目のみ20mg/m²、それ以降は56mg/m²。
- ※ カルフィルゾミブ投与時は水分摂取に努めること。
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。
- ※ 骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的に検査を行うこと。
- ※ 末梢神経障害が投与開始後早期にあらわれることがあるので、注意すること。

| Cre値 (mg/dl) | 計算上のCCr |
|--------------|---------|
| | #VALUE! |

投与量:

| 薬剤 | 投与量 | 計算値 | 投与量 (mg) | 投与日 |
|----------|----------------------|---------|----------|----------------------------|
| カルフィルゾミブ | 56 mg/m ² | #VALUE! | | 1, 2, 8, 9, 15, 16 |
| 薬剤 | 投与量 (mg) | 減量 | 投与日 | |
| レナデックス錠 | 20mg | なし | | 1, 2, 8, 9, 15, 16, 22, 23 |

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1, 2, 8, 9, 15, 16
1月1日 (日) 1月2日 (月) 1月8日 (日) 1月9日 (月)
1月15日 (日) 1月16日 (月)

内服 レナデックス錠4mg **5錠** (カルフィルゾミブ投与の30分前に内服すること)

0時15分 ① 生理食塩液 100mL + デキサート 3.3mg

30分で点滴静注

0時30分 ② 5%ブドウ糖液 100.0mL + カルフィルゾミブ **0.0mg** + 注射用水100mL (溶解用)

30分で点滴静注

1時00分 ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

Day22, 23 1月22日 (日) 1月23日 (月)

内服 レナデックス錠4mg **5錠**

REFERENCE

Meletios A Dimopoulos, Philippe Moreau, Antonio Palumbo, et al; Lancet Oncol 2016;17:27-38
Carfilzomib and dexamethasone versus bortezomib and dexamethasone for patients with relapsed or refractory multiple myeloma (ENDEAVOR): a randomised, phase3 open-label, multicentre study
2017年6月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2017年6月12日